

令和5年度 教育における ICT 活用事例 募集要項

1 目 的

県教育委員会では、Society 5.0 を見据えて、未来に向けて新しい価値を生み出していく「子供」を育てることを目指し、全県的に「教育 DX プロジェクト」を進めている。

佐賀県における「教育 DX プロジェクト」をより一層活性化させるため、日頃、学校教育に従事している教職員が実践した、または実践予定の「活用事例」等を公募し、特に優れているものについて、紹介及び表彰を行い、各学校の教育実践の参考となるよう県全体に共有し、本県教育の質の向上につなげる。

2 主 催 佐賀県教育委員会

3 応募資格 佐賀県内の学校に勤務する教職員

4 募集内容等

(1) 内 容

1人1台端末を効果的に活用した「活用事例」及び「デジタル教材（自作のもの）」とする。

(2) 教科・領域等

学校教育全般に関するもの（各教科、特別活動、総合的な探究の時間等）とする。

5 応募方法等

(1) 応募条件

- ① 応募は、個人・グループ（学校内）どちらも可とする。
- ② 応募する「活用事例」は、個人又はグループで実践したもの、「デジタル教材」は個人又はグループで開発し、電子化されたものに限る。
- ③ 応募する「活用事例」及び「デジタル教材」は、他のコンテスト等に未応募のものに限る。ただし、過去に研究発表等で発表し、その後改変したもの等については応募を認める。
- ④ 応募に際しては、著作権や肖像権等の侵害等に留意し、利用許諾等が必要な場合は、その処理を行った箇所を明記すること。

(2) 応募要領

以下の3点を提出すること

提出物	備考
応募票 (別紙様式1)	<ul style="list-style-type: none">「活用事例」や「デジタル教材」の補足資料があれば、応募票と合わせて提出すること。書式は任意とする。紙媒体で提出すること。
発表動画	<ul style="list-style-type: none">「活用事例」及び「デジタル教材」を発表者が紹介する様子を撮影し、その動画デジタルデータを提出すること。撮影の形式は問わない。発表時間は<u>10分程度</u>とする。DVD-R等で提出すること。
学習指導案 (別紙様式2)	<ul style="list-style-type: none">「授業での活用事例」で応募する場合は必要。「授業外の活用事例」、「デジタル教材」で応募する場合は不要。紙媒体で提出すること。

(3) 応募期間 令和5年10月23日(月)～令和5年11月22日(水)

※1 市町立小中学校は、11月8日(水)までに市町立教育委員会に提出してください。

※2 市町立教育委員会は11月15日(水)までに所管の教育事務所・支所に提出してください。

(4) 提出先 〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号 佐賀県教育委員会事務局 教育DX推進グループ 電話番号 0952-25-7363 e-mail kyouikudx-g@pref.saga.lg.jp

※1 応募時に提出されたものは、原則として返却致しません。ご了承ください。

6 審 査

(1) 審査方法

- ① 審査委員会を設置し、総合的に審査する。
- ② 応募数が多数の場合は、予備審査を実施する。
- ③ 12月中旬頃に審査会をオンライン形式で実施する。
 - ・ 審査に際し、審査員による発表者への質疑応答の時間を設ける。
 - ・ 審査会の日時等は別途通知する。
- ④ 審査結果は、所属する学校長及び本人に通知する。

(2) 表 彰

最優秀賞1名、優秀賞2名を決定し表彰する。